

事故報告書

平成 21 年 2 月 13 日(金)に発生しました鹿児島大会でのプロクラスウエイブ競技中の事故につきましてご報告致します。

2 月 13 日(金) 大会会場 鹿児島県日置市東市来町江口浜 競技開始時間 AM11:50
風は徐々に上がり各選手 4.7、4.5 辺りのセイルサイズ、波は胸肩サイズの中、プロクラスのヒートがスタートしました。

2 ヒート目開始直後、参加選手がセットの波を使いフォワードループを仕掛けました(4~5M くらいの高さだと思います)が回転が途中で止まった状態で海面に落ちました。(セイルごしでしたので、落ちた体制や場所ははっきりわかりません)しばらくヒートはそのまま続けられていましたが、ヒート中盤、波間で選手が道具から離れ気を失っているのを発見し、すぐに陸側と沖で待機中のマリンジェットより救助に向かいました。

救助後の選手の容態は心肺停止状態で大変危険な状態でした。すぐにその場で心臓マッサージと人工呼吸による甦生が行われ、心肺は機能し始めましたが意識は戻ることなく、そのまま鹿児島の医師会病院に搬送されました。

2 月 13 日の事故当日から 17 日までは脳を少しでも休ませるために、麻酔で眠らせる治療が続けられていたようですが、16 日の夕方に意識が回復し会話も出来たとの報告を奥様より頂きました。しかし頸椎に脱臼と骨折があることが判明し、23 日そのための手術が行われ、現在は経過を見守られている状態だとお聞きしています。

今大会の中止についてですが、プロ参加選手の多数決、その結果を踏まえての実行委員会、WAVE 委員会、JPWA 理事(鹿児島大会参加理事)での協議の結果 大会の中止を決定いたしました。

今回 この様な事故が起こってしまった事により、多くの皆様に大変ご迷惑をお掛けしてしまいました事を心より深くお詫び申し上げますとともに、今後 さらに安全体制の追求に、いっそう努力してまいります。

JPWA 理事長 石原 智央
JPWA ウエイブ委員会 委員長 松井 重樹

